



Title	都市社会学：昭和28年度特殊講義案 第6巻 第2号
Author(s)	鈴木，栄太郎
Description	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。
Issue Date	1953
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77391
Type	manuscript
File Information	N013_01S28.pdf



NOTE BOOK

都市社会
二十八年
特殊青年

第六卷

第一号

都市生活協同体論

行政的組織

職を担う協力のつくり

社会生活における協力

都市生活協同体論

近代の都市の市民は共同防衛
の爲に結集するものと見なすはな一。
外亂に對しては、^{今頃は}國家が政治の主役にな
るから都市が獨りに政治の主
役となることはない。自然の災害は常
に比較的廣範圍に亘るものであるからこ
れは都市が獨りに防衛する事はない。
共同防衛の必要がなくなるとは市民
の結集を甚だしく遲延せしめるに相當
ない。

然し共同防衛の必要がある時代はい

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

(都市生活協力体としての都市)

都市生活協力体としての都市

都市生活協力体としての都市

都市生活協力体としての都市

都市生活協力体としての都市

都市生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

生活協力体としての都市

⑤ 店名のなつる市に於ける地区集

用の預け
之
財能
仁者の陣の
方

新時代の~~市~~の市民の活動

自海の政治経済の発展と文化の発展

あゝ。それより、今日の本邦の政治体と歴史とを、
その軌跡をたゞ機械的に

東京、行政、政治、経済、文化の発展とこの市民生活の向上

[illegible]

喘了心
自治的自
治的自治

さ
よ
の
あ
帯
あ
る
に
治
ま
な
け
た
ら
し
い

都市自治の五十年史

自來水的供水工程

口字部改鈔條の中
に効く水工天小

うね、
ふり
(か)
おし
な

下井常の愛に耽るは永く自徳性の命に於ては其の如き事あり

自他同の首長は、ホスルシロヤ知事と在りて配當す。

あつしよ 非常な愛下の都市に江かくのちを鉄橋は

よのち

泉源を其の右徳の人にして

生 14

の強大な協力を得て、
新政府は可成り

半中
 凡
 經濟上
 運ぶもの

[illegible]

此の二書は、
合して、
一冊とす。

又ありては、市電には

[illegible]

有平太の汽車の事故の救へんことをせよ

[illegible]

神楽の
うた
と
い
は
れ
た
り

の
な
~~の~~
力
外
た
い
ま
か
は
た
多
数
に
よ
り

思ふに密に子に返す日

いふより、出来ては、多に程いふ、さうなつ、人の、安

や生活に多岐にわたる多岐にわたる

何の時に山崎の所へ来たか

[illegible]

治力不足を去るたゞあつた
治力不足を去るたゞあつた

三) 政治的
 的の
 あり
 しか
 つか
 する
 か

不

◎都市の行政組織を考察するに
政治

なく、政治行政は都市を多岐にわたるものとして

あるべきである。又都市の政治組織は、

実として統一を成し得ていない（この点については）

密居して多数の先決事項の政治は

都市の発展を妨げる密居する大群衆に秩序を

維持を要するものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

都市の発展を妨げるものなるは政治は、

七校揮
都市の発展を妨げるものなるは政治は、

政治組織は都市には不可欠の要素である

曾て存在したことは定かである

明治三十九年のメソポタミアの都市に

政治的組織は有るべきである

政治組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

都市組織は都市の住民の上には

1. 非常時の防衛のため
2. 日常の密着生活に必要
水・居る・居る

都市の協力関係

一 行政機関

二 職業

三 文化

一般生活における協力
子弟都市外へ
自然の力

⑧ 又、都市に対する行政都市の防衛に
2. 都市の協力関係

行政都市の区域を悪化したことを
又行政都市即ち政治性として都市の
生活環境を悪化させる必要あり

都市の協力

都市の協力関係の整理
都市の協力関係の整理
都市の協力関係の整理

行政機関の協力関係
行政機関の協力関係
行政機関の協力関係

職業の協力関係
職業の協力関係
職業の協力関係

文化の協力関係
文化の協力関係
文化の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係
都市の協力関係
都市の協力関係

都市の協力関係

故に経済部をねらふことも必要なり。と
 都市の生活は経済部をねらふものなり。
 経済部は経済部をねらふものなり。
 故に経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

生活の経済部。都市の人々。

交換し合ふ生活。都市の生活。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

都市の生活は経済部をねらふものなり。

けれども、和歌山、直接に接する
所は、それ程多くあつて、大抵は
歸りもない。世田谷区、住民の増え、
を調査した結果によれば、全区民の10%
入る。那も、知るの90%で、その区内
の高層である。大阪市の、その高層の
群集は、強いて言ふ、その区域の人によめ、
わけて、龍ヶ崎の高層街の、
の10%は、その四丁以内、その大し、
うな、である。

人は、入浴の、数、
て、都市を、他の都市に、
て、都市を、他の都市に、

他の都市の管見や病院に去抵けようは
例外である。

あるところから

丁度世田谷の区長が何か東京電報の請
入うものは銀座や我宿によう木の。と同様
に特に寛平の在都の贈のや贈珠のサート
スを得るために他の都市に去かけよう
あるとしても、日常生活におけるは
は同甚くあせま、地域内に限る
る。かくとも自分の住んで居る都市内
には常々生活の体面は多々皆交わし
て居る。と云ふのは都市内の人々との
接点に於て生活をつ、け、て居ることを
意味する。

たゞこゝに結果に於いて相対的に努力
して日常生活の必要を相互に
充足して行く。この態度である。
凡そ果敢なものは都市に於いて
生活の同様に形成して行く。人
の生活の性格又は情懷を
性格が人間の生活に地域的に根
拠して行く。又かゝる結果としてより
是れが結果である。
人々が何れかの果敢に於いて、
何れかの果敢に於いて、
云々である。更に何れかの生
活が変化である。

活潑な同僚は、
 正破り。部員
 活潑な同僚は、
 正破り。部員
 活潑な同僚は、
 正破り。部員

都市の発展には巨大な生活能力を必要とする

の即ち一つの巨大な生活能力を必要とする

かつけ小はたぐぬとせし、時に結節ししこの

機能に有す。東洋の今即ち村落を以てする

この即ちこの機能に有す。東洋の今即ち村落を以てする

としこの村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

しこの村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

この村落を以てする。東洋の今即ち村落を以てする

自然に直ぐおすい
余けし考察し
てこの論
現の犯罪
は犯罪の生
起を核
然との関連
を考
慮せんとす
るもの
である

都市は次の形
をとり生活
力係を
形成して
行く

体

五節 生活 力 神 氣 心 都 系

人は文化の
物々
の
際
に
所
争
争
衛
の
力

に
は
協
力
が
最
大
の
武
器
で
あ
る
事
を
知
る
事
だ

ア
イ
ウ
エ
オ
カ
キ
ク
ケ
コ
サ
シ
ス
セ
ソ

可
常
レ
事
の
ア
イ
フ
。
マ
ク
ウ
カ
タ

此の海に内へ漸進して北に成るせいで、

下
 来
 手
 の
 足
 小
 小
 足
 力
 を
 口
 鼻
 先
 以
 一
 十
 万

密居の裏に
の
中
か
う
て
る
年
々
未

の
39
か
を
す
よ
に
上
I.
カ
B
01
3
2
右
✓
X

白
家
の
如
き
銀
貨
の
銀
貨
は
金
貨
と
同
じ
と
思
は
れ
て
い
る

大
規
模
の

2

し賜教せしむ

の居候

若しわ民の一人くを統治するに口民を

と陽にカ地をともれなく連結するに親族を

要としその組織の要領のみに各地に結節と

しこの機能を指すに際し其の中心を以て

其の中心を以てかくの如き結節としに機能

と要領の中心を以て其の中心を以て口民の

的統治の中心を以て其の中心を以て暴力的

の中心を以て其の中心を以て経済的流通の

中心を以て其の中心を以て其の中心を以て

故に都市に在るべきものの連結の機能が

本誌としての

的生活協力作
 となし
 となし
 となし

に交通通信の機
 関を有しては
 なるべし

かくの如く
 都市は人口を
 増進し、その
 機能を増進

せしめ、その
 都市の機能を
 増進し、その
 機能を増進

中防衛の
 生活に
 関するもの

口民の
 生活に
 関するもの

都市の
 発展を
 促進する

と云ふまで
 機械化
 による

と云ふまで
 機械化
 による

と云ふまで
 機械化
 による

文化の
 発展を
 促進する

安んずるべきの外に就いては、防衛は必要とす。不
 くなく、これより少くとも、防衛をせよ。今、この一宗
 には、外に就いては、防衛は必要とす。今、この一宗
 軍制の化を、防衛は必要とす。今、この一宗
 は、外に就いては、防衛は必要とす。今、この一宗
 市、五ヶ年、防衛は必要とす。今、この一宗
 の安んずるべきの外に就いては、防衛は必要とす。今、この一宗
 市民の防衛は、防衛は必要とす。今、この一宗
 も、防衛は、防衛は必要とす。今、この一宗
 今、防衛は、防衛は必要とす。今、この一宗

平成
 防衛